

2022 年 11 月 24 日

# Press Release

報道関係者 各位

## モノクロ A3 プロダクションプリンター

### 「TASKalfa Pro 15000c/B」、**「TASKalfa Pro 15000c/B Type-L」を新発売**

京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社（社長:長井 孝）は、モノクロ A3 プロダクションプリンター「TASKalfa Pro 15000c/B」、**「TASKalfa Pro 15000c/B Type-L」**を 2023 年 2 月上旬に発売いたします。



モノクロ A3 プロダクションプリンター「TASKalfa Pro 15000c/B」「TASKalfa Pro 15000c/B Type-L」

昨今、世の中では出版不況と言われていますが、学習参考書、文集、会報などの印刷物は堅調に推移しています。この度、月間 50 万枚以上印刷するユーザーをターゲットに、販売価格を抑えたモノクロモデルとして本製品を投入いたします。

京セラ独自の水性顔料インクは、てかりを抑え、目にやさしい、落ち着いた風合いのモノクロ印刷を実現します。さらに用紙の搬送技術により、印刷後のカールを防ぎ、後工程に運搬する際用の紙揃えの作業負担を低減し、増え続ける少量多品種の需要に応えます。

「TASKalfa Pro 15000c/B」、**「TASKalfa Pro 15000c/B Type-L」**は、モノクロオンデマンド印刷のビジネスの可能性を拡げる新たな選択となる一台となります。

#### 「TASKalfa Pro 15000c/B」、**「TASKalfa Pro 15000c/B Type-L」の特長**

- [1] 高生産・ノンストップの安定稼働
- [2] 反りの少ない印刷物・製本にも最適
- [3] 目にやさしい水性顔料インク
- [4] コストシミュレーション
- [5] プロユーザートレーニング

製品名	連続プリント速度 (A4 ヨコ)	希望小売価格 (税別)	発売予定
TASKalfa Pro 15000c/B	150 枚 / 分	6,890,000 円	2023 年 2 月上旬
TASKalfa Pro 15000c/B Type-L	150 枚 / 分	8,650,000 円	2023 年 2 月上旬

※ ニュースリリースは報道機関向けの発表文章であり、そこに掲載されている情報は発表日現在のものです。  
ご覧になった時点ではその内容が異なっている場合がありますので、あらかじめご了承ください。

**「TASKalfa Pro 15000c/B」「TASKalfa Pro 15000c/B Type-L」の特長****[1] 高生産・ノンストップの安定稼働**

ライン型インクジェットヘッドを採用し、高速なシングルパス印刷を実現することで、1 分間に 150 枚（A4 サイズ）の高速印刷を実現します。インクジェット方式による画像生成は、電子写真方式に見られるキャリブレーションによる中断や、厚紙印刷のための減速などをせず、1 時間に 9, 000 枚（A4 サイズ）の連続印字をすることを可能としています。

**[2] 反りの少ない印刷物・製本にも最適**

高速で安定した搬送を支えるシステムの内部では、温風式と機械式のハイブリッドで用紙のカーブを防ぎ、後工程に運搬する際の用紙揃えの作業負担を軽減しています。高速温風ファンは、搬送経路上の最適な位置に複数配置され、機械式デカーラーでは、用紙の厚みや特性に応じて自動的にテンションを変え、用紙に最適な補正圧がかかるように動作することで反りの少ない印刷物・製本に対応しています。

**[3] 目にやさしい水性顔料インク**

にじみや裏写りを低減する速乾性を持たせた独自開発のインクは、1 分間に 150 枚の高速印刷でも流れの少ないドット再現を実現。テキストや細線はくっきりと、てかりを抑え、目にやさしい、落ち着いた風合いの印刷を行います。

**[4] コストシミュレーション**

使用するインクコストを事前にシミュレートするユーティリティソフト<sup>※</sup>を提供。インクカリキュレーターは、実際のデータ、部数、および使用する用紙の種類やサイズなどを指定することで、その印刷にどの程度のインクを消費するのかを事前にシミュレートすることができ、ビジネスのコスト試算の迅速化を図ることができます。

※Windows 上で動作する PC ソフトウェアです。

**[5] プロユーザートレーニング**

ダウンタイムを最小限に抑えるためのプロユーザー用トレーニングプログラムを提供し、受講をお勧めしています。トレーニングを完了したユーザーは、トラブルを未然に防ぐメンテナンスの実行や、主要な消耗部品を交換することができます。

※ ニュースリリースは報道機関向けの発表文章であり、そこに掲載されている情報は発表日現在のものです。  
ご覧になった時点ではその内容が異なっている場合がありますので、あらかじめご了承ください。